

「自覚」を高め中学校での勉強に励もう

－自己学習能力を身に付けよう－

開倫塾
塾長 林 明夫
(経済同友会)

はじめに.

- (1) 本日の講義の mission(ミッション、使命)。
話を聞いてくださる皆様の「成功の実現」に貢献すること。
自覚を持ち勉強に励むことにより、有意義な人生、充実した人生を送ってもらうこと。
- (2) 教育効果(成果) = 「本人の自覚」が最も重要。
「自覚」、「やる気」、「目的意識」、「使命感」を持って勉強に取り組むか否かは決定的。
中学時代から「自覚」を持って勉強に励めば、有意義な一生を送ることができる。
何も考えずに「無自覚」に過ごせば、悔いの残る人生になってしまう。

1. 自己紹介

- (1) 林 明夫。(漢字には意味がある。林は英語で Forest(フォーリスト)、明るい Bright(ブライイト)、夫(おとこ)は Man。) 英語での自己紹介。Bright Man in the Forest.
- (2) 栃木県足利市出身。「足利学校」は日本で初めての大学。3 千名の学僧(寺に帰り寺子屋を開く、僧侶も多く、寺子屋のはじまりともなった。)(1 日で帰った人も、一生居た人も。)
- (3) 中学時代は柔道を。大学時代は法律の勉強を(犯罪学)。

2. 仕事の内容(活動の内容)

- (1) 株式会社開倫塾代表取締役 社長
会社の経営責任者、全ての責任を負う(刑事責任、民事責任)
- (2) マニー株式会社 社外取締役
(会社の役員を指名し、業績を評価し、監査する)
- (3) 栃木県社会教育委員
(栃木県の社会教育について調査・研究した上で、教育長と知事に意見を述べる)
- (4) 特別養護老人ホームの理事
- (5) 学校法人の評議員
- (6) 開倫ユネスコ協会 会長
- (7) 開倫研究所 所長

3. 仕事をしていてうれしいこと

- (1)生徒が目を輝かせて勉強に励み、成績を伸ばし、希望校に合格すること。
成績が伸びることは、人生における選択肢(せんたくし)が増えること。
- (2)目を輝かせ仕事をしているのを目にすること。
- (3)団体や会社、社会の問題点は何か、その原因は何か、どうしたらその問題を解決できるかを企業人の立場で議論し、考え方をまとめ、提言し続けることで、少しずつ社会がよくなること、団体や会社がよくなることが実感できること。

4. 仕事・活動を選んだ理由

- (1)学習塾の仕事。大学時代から法律の勉強をし、弁護士になるために司法試験を受けていたが合格しなかった。何か仕事をせねばと思ったとき、大学時代に視察に訪れた刑務所の先生方が「学生時代にちゃんと勉強していれば、このようなところに来なくても済んだ人が大部分」と言ったことを思い出したため、子どもたちを教える仕事を選んだ。
アルバイトでも随分と塾や家庭教師の仕事はしていた。
- (2)企業人(ビジネスマン)の立場で、国際社会、国や自治体、社会のあるべき姿について考え、発言し、できる範囲での行動(活動)をする人(ビジネス・ステーツマン)を志しているため。

5. 中学校時代の夢

- (1)部活動をしっかりやりたかった。
- (2)生徒会活動をしっかりやりたかった。
- (3)よい成績も取りたかった。
- (4)足利高校普通科に進学して大学に行きたかった。
- (5)大学では政治や法律を勉強したかった。
- (6)外交官か弁護士になりたかった。
- (7)新聞を毎日1時間以上読んでいた。本もよく読んだ。
- (8)NHKで放送していた基礎英語や英語会話もできるだけ聞くようにしていた。
- (9)学校は荒れに荒れていたが、みんな元気で部活動に励んだ。
- (10)よい担任に恵まれた。岡田忠治先生から「くいついたらはなすな。」という「ブルドック魂」を教えて頂く。

6. 中学時代に身に付けておくといふこと

⇒自分で勉強する能力(自己学習能力)を身に付けること。

机に向かう習慣を身に付けるためには、まずは得意科目をどんどん伸ばそう。《「得意科目」から勉強するのがコツ》

- (1)学習には3段階あり、それにふさわしい勉強方法をとると高い成果があげられることを知ろう。

└(ア)理解(うんなるほどとよく分かること。腑(ふ)に落ちること。)

- ①教科書を辞書や参考書を手がかりに丁寧に読む、じっくり読み込む。
- ②先生の授業を真剣に聴く。

両手を机の上に置き先生の目をじっと見ること。アイ・コンタクトを

欠席、遅刻、早退、おしゃべり、携帯電話、居眠り、忘れ物があると、理解が妨げられる。

＊ただし、一度「理解」できたことも「アッ」という間に忘れてしまうことが多いので、次の「定着」が大事。

(イ) **定着** 一度理解したことをきちんと身に付けること。(復習し、暗記してしまうこと。)

- | | |
|---------------------|---|
| ①何も見ないでスラスラ言える。 | } 「定着のための作業時間」を大量に、たくさんとれるかどうかで決まる。
＊ファミコン、TV、携帯電話、ケンカ、風呂、悩むことなどで長い時間をとられないこと。 |
| ②正確に楷書(かいしょ)で書ける。 | |
| ③やさしい問題は条件反射で解答できる。 | |

(ウ) **応用** ①合格点がとれる。

②世の中に出てから使える。

(2)新聞を1日1時間読み考える能力

－朝刊だけでなく夕刊や英字新聞も読んでみよう。

→ **スクラップ** もしよう。

(3)他人のよいところ、自分のよいところを発見できる能力

－Asia のよさ、日本のよさ、東京のよさ、墨田区のよさ、立花中学校のよさ、友達のよさ、家族のよさをたくさん探し、きちんと表現できるようにしよう。そして自分のよさも。

(問題点は問題点で、それも認識しよう。)

7. 今後、必要な能力

(1)これからの世界や日本、世の中はどのように動いていくのかを、新聞や TV、雑誌、その他のいろいろなものを通じて知り、自分の力で考え、自分はどうしたらよいかを深く考えた上で行動する能力。

(ア)国際化が進むと、多様な人々とコミュニケーションをはかる必要がある。

- ①英語でのコミュニケーション能力
- ②その手前で、自分自身を知り表現できること(国語力)

(イ)IT なしで仕事の能率(生産性)をあげることはできない。

- ①コンピュータによるコミュニケーション能力
- ②IT 犯罪に巻き込まれない力も。

(ウ)少子高齢化。気をつければ、100 歳以上までは誰でも生きられる日本になった。

ただし、財政は破綻。

自分の力で病気にならずに、少しでも働きながら 100 歳以上生きる力。

(生涯現役能力)

(2)収入の範囲で生活する能力。(できるだけ人に頼らず、自分のことは自分ですること。

支出は自分にとり必要なものだけにし、不要なものにはお金を出さないこと。)

(3)夜は早く床に就き、早寝、早起き、朝ご飯。遅刻をせずに約束の場に元気に到着できるのも大切な能力。

(4)相手の立場でものごとが考えられる力。相手の言うことを最後までジーと聞く力。

(5)躰(しつけ)

- ①美しい立居振舞(たちいふるまい)
- ②敬語表現を含む言葉遣いを身に付けよう。

おわりに.

(1)「教育ある人」とは、「自分の夢や目標に向かって死ぬ前日まで勉強し続ける人」のこと。

(2)「教養ある人」とは、「他人の悪口」を言わない人。(人格批難をしない人)

本や新聞、質の高い TV 番組、ホームページ、映画、演劇、美術館、博物館、外国も含めた旅行などを通じて、自分自身を磨き高めること。

よさ、文化、多様性を知ること。

(3)仕事や社会的活動にも、(家庭生活とのバランスを考えながら)一所懸命(一つの所で生命を懸けるくらいの熱心さで)取り組もう。何のためにこの仕事、この活動をするのか、mission(使命)を知る努力をしよう。

(4)私の好きな言葉

一生勉強、一生青春。(相田みつを先生)

以上

* 御清聴を感謝いたします。

— 11 月 29 日上智大学図書館で記す—